

6月の園だより



R3. 6 富田林市立喜志幼稚園

育てたいこと

3歳児

- ・ 園での生活の仕方に慣れ、簡単な身の回りの始末をしようとする。
- ・ 好きな遊びを見つけて先生や友達と遊ぶ。

4歳児

- ・ 友達と一緒に土、砂、水などの自然に触れ、開放感を味わって遊ぶ。

共通

- ・ 身近な生き物や栽培物の成長に関心をもつ。

5歳児

- ・ 泥や水の感触を味わいながら、試したり工夫したりして遊ぶ。

今日の給食、何かな？

ある新聞の『鬼の給食指導』というタイトルに目が行きました。記事の一部ですが・・・【私は人生初の教育機関、幼稚園を中退した。昭和43年にそれをやっていた私はさしずめ「不登校のパオニア」だ。特に嫌だったのは、昼食の時間。あの頃は「食育」という言葉もなく、「食べ物を残す子はわがままで悪い子」という共通認識が大人にはあり、とにかく「残さず食べろ」「食べるまで帰さない」という指導が主流。みんなが昼休みになって遊んでいても、吐き気をこらえながら涙とともに冷めた食べ物を口に運ぶのは苦行だった。とうとう、昼食時間が近づくと具合が悪くなり、(略)退園した。今も覚えているのは「アフリカで食べられないで死にそうな子もいるんだよ」という先生の言葉。(略)当時、テレビを通し、飢餓で死にひんしている子どもたちの姿を私も知っていた。でもね先生、「私が吐きそうになりながらこの給食を食べたら、遠くの国のあの子たちは助かるの？私が食べたらあの子たちはおなかがいっぱいになるの」そんなことを尋ねたかった。幼稚園は怖くて、そんなこと言えなかったけど。今は当時のような「鬼の給食指導」をしているところはないと思うが、人間、食べられない食材があったって命には関わらない。(略)幼稚園や学校って、時に子どもを苦しめる装置となることを忘れないでおきたい】ある公立中学校校長が書かれたものでした。

今年から幼稚園給食が始まりました。私自身好き嫌いが無いので、食に対する様々な思いをしている子どものことを理解したいと思って接しています。しっかり食べて成長してほしいという大人の願いは同じでも、思いが届くどころか、この記事のように、子どもを苦しめてしまうような言葉があると思うと緊張がはしります。今、間隔を開けて前向きに座っての給食時間ですが、先生たちは、少しでも楽しい時間になるように子ども一人一人に寄り添った言葉をかけています。この幼児期の食育の大切さを感じています。将来、「幼稚園で食べた照り焼きバーガー美味しかったよな～」「嫌いな物出てきたけど、学校行ったら食べられるようになったわ」など、思い出が楽しいものであってほしいと願っています。

喜志幼稚園 おひさまプロジェクト



6月の取り組みは**熱中症対策 水分を補給しよう!**です!

毎朝、持ってきてもらっているTシャツに着替え、汗をかいても帰りは体操服に着替えて帰ります。自分のハンカチで汗をぬぐったり、日陰で涼んだりすることができるといいなと思います。

未就園児広場

園庭開放は1日(火)

2歳児ばんだ組は30日(水)

※緊急事態宣言中、広場は実施できません。